

中国業務通説

我が巨人軍と中国共産党、自民党は永久に不滅です

2023年1月22日づけ BBC WORLD NEWS が「日本は未来だった、しかし今では過去にとらわれている BBC 東京特派員が振り返る」との記事を配信した。日本をこう言っている。

たとえば、殺害された安倍晋三元首相は元外相の息子で、岸信介元首相の孫だった。岸氏は戦時下に閣僚を務め、戦犯容疑者としてアメリカに逮捕された。それでも絞首刑は免れ、1950年代半ばに自由民主党の結党に参加した。この自由民主党がそれ以来、日本を支配し続けている。

日本は単独政党国家だろうと、冗談で言う人もいる。それは違う。しかし、特権的なエリートが支配する政党、アメリカに押し付けられた平和主義を廃止したいと切望する政党、それなのにもう30年も生活水準を向上させられずにいる政党に、なぜ日本の有権者は繰り返し投票し続けるのか、そこを不思議に思うのは、当然のことだ。

最近の選挙の最中、私は都心から車で西に約2時間離れた、山間の狭い溪谷を車で登った。自民党の地盤だ。そこの地元経済はセメント作りと水力発電に依存している。小さい町の投票所に歩いていくお年寄りの夫妻に、私は話を聞いた。

「自民党に投票する」と男性は言った。「信用しているので。私たちの面倒をしっかりと見てくれる」。

「私も主人と同じです」と、女性の妻は言った。

この夫妻は、最近完成したばかりのトンネルと橋を挙げた。これがあれば週末に、都心からの観光客が増えるかもしれないと期待していると。

自民党の支持基盤はコンクリートできていくとよく言われる。利益誘導型のこの政治が原因のひとつとなって、日本の海岸がテトラポッドだらけで、河岸は灰色のコンクリートでがっちり固められている。コンクリートを作り続けるのが不可欠だからだ。



日本経済は世界第3位の規模だが、もう何年も停滞が続いている

全文は下記にアクセスください。

<https://www.bbc.com/japanese/features-and-analysis-64357046>

「利益誘導型のこの政治」がいまの日本の政治状況を一言で言い表しているだろう。自民党は日本の全ての組織を自民党の集票組織、マシンに組み込んだ。農協、日本医師会は自民党の有力支持団体だ。労働組合の上部団体の連合は自民党の支持団体に変節、転向。大企業は自民党に選挙資金（政治献金）を提供。テレビ、全国紙などのマスコミは自民党政権を批判せず。

自民党にとり地方が過疎化し、疲弊することが望ましいのだ。自民党政権は過疎化し、疲弊した地方への公共事業、地方交付税、補助金とひきかえに自民党への投票を誘導する、地方を国からの財政補助がないと成り立たない状態にしておくのだ。自由と民主主義とは無縁な政党が自由民主党と名乗るのは偉大な皮肉だ。盤石な自民党政権。

中国の組織のトップは組織上の長と中国共産党委員会の長との2人体制をとる。中央組織、地方組織、国有企業では組織上の長より中国共産党委員会支部の長が格上だ。

北京市のトップは尹力市中国共産党北京市委員会書記で、ナンバー2は殷勇北京市長。北京大学のトップは邱水平中国共産党北京大学委員会書記で、ナンバー2は龔旗煌北京大学学長。中国最大の国有企業 国家电网有限公司のトップは辛保安董事長兼党組書記。

中国共産党と民营企业との関係だ。中国共産党章程（規約）第二十九条に「企業、農村、機関、学校、科学研究所（中略）その他の基層組織は、3人以上の正式な黨員がいる場合、必ず党の基層組織を設置しなければならない」と規定している。中国の公司法（会社法）第十九条に「会社内に中国共産党の組織を設立、党の活動を行い、会社は党組織の活動のために必要な条件を提供しなければならない」と規定している。

アリババ（阿里巴巴）、テンセント（騰訊）、Baidu（百度）、ファーウェイ（華為技術）など中国のほぼすべての民营企业に中国共産党支部が設立されている。外国との合併企業の多くでは中国共産党支部、工会（労働組合）が作られ、事実上、中国共産党の影響下にある。

中国政府は軍隊を保有していない。中国に人民解放軍という軍隊があるが、人民解放軍は中国共産党が創設し、中国共産党の指揮下にある。言ってみれば日本の自衛隊が自民党に保有され、自民党の指揮下あるようなものだ。習近平氏は党、軍、政府の三権のトップだ。中国共産党中央委員会総書記、中華人民共和国中央軍事委員会主席、中華人民共和国主席。盤石な中国共産党政権。

日本の岸田首相はアメリカのバイデン大統領以上の権力を持つ。日本の権力は首相に集中しているが、アメリカの権力は大統領に集中していない。日本は三権が完全に分立していないが、アメリカは三権が完全に分立している。首相の支配は国会と司法に及ぶが、大統領権の支配は議会と司法に及ばない。日本の国会は首相・政府の言いなりで、司法は首相・政府に忖度するが、アメリカの議会は大統領・政府の言いなりにならないし、司法は大統領・政府に忖度しない。

岸首相が怖いのはバイデン大統領だけか。岸田首相は財源の当てが無いのにアメリカの武器を言い値で大量に買ってくれるのでバイデン大統領は大喜びだ。岸田首相はアメリカ政府には思いやりがあり、日本国民に思いやりはない。



1月13日、バイデン大統領と岸田首相が会談。「俺が言ったことはわかっているだろうな」「はい。勿論です」

墮落、腐敗しきった自民党に危機感はない。中国共産党には党内、政権内の汚職と腐敗が続くと政権を失うという危機感があるだろう。国民が怖くない自民党、国民が怖い中国共産党。

中国は自由な選挙により政権が成立していないので、民主主義国ではないと言われる。日本は自由な選挙が行われ、選挙で選ばれた多数党が政権を掌握するので、民主主義国だと言われる。自由選挙で成立した政権はみな民主主義政権というのが世界の常識。

しかし、日本の選挙制度に問題があり、利益誘導、買収が横行している。このような不正な選挙で選ばれた政権に正統性があり、民主主義が実現されていると言えるだろうか。

社会主義国のキューバは海外に兵士を派遣して戦争に加わったことはない。資本主義国のアメリカは朝鮮戦争、ベトナム戦争、イラク戦争、アフガニスタン戦争と途切れることなく海外に兵士を派遣して戦争をおこなってきた。

社会主義イコール非民主主義、資本主義イコール民主主義と決めつけることはできないだろう。

中国共産党も自民党も国内のすべての組織を支配下におさめた。中国共産党と自民党は続くよどこまでも♪ 中国共産党支配が終わるときは中国が滅ぶときだと思ふ。自民党支配が終わるときは日本が滅ぶときだと思ふ。日本が滅んでも巨人軍が滅びることないと思ふ。(横井幸夫 元東レ株式会社)